

經濟論叢

第101卷 第1号

佐波宣平教授記念號

献 辞	出口 勇 藏	
組織論史におけるバーナード理論の意義	山 本 安 次 郎	1
スミス経済学における巨視的モデル	青 山 秀 夫	22
マクロ経済学の論理と政策的指向性	島 津 亮 二	35
資産選択の理論	鎌 倉 昇	53
ロ イ ズ	谷 山 新 良	62
巨視的計量モデルにおける乗数	森 口 親 司	81
Activity Analysis と立地モデル	小 林 清 晃	94
地域経済の構造分析	井 原 健 雄	111
輸送投入と産業連関分析	山 田 浩 之	131

佐波宣平 教授 略歴・著作目録

昭和43年1月

京都大學經濟學會

佐波宜平 教授 著作目録

著 書

再保険の発展	有斐閣	昭和14年(1939)
海運政策外国文献一解題と批判	海事文化研究所	昭和21年(1946)
交通概論	有斐閣	昭和23年(1948)
海運理論体系	有斐閣	昭和24年(1949)
交通学大要	大阪鉄道図書KK	昭和24年(1949)
保険学講案	有斐閣	昭和26年(1951)
海運研究者の悲哀	日本船長協会	昭和26年(1951)
改版 交通概論	有斐閣	昭和29年(1954)
保険危言	通信教育振興会	昭和30年(1955)
海だ海だ	狭衣会	昭和35年(1960)
海運動学入門	海文堂	昭和37年(1962)
交通学入門	交友社	昭和38年(1963)
弾力性経済学	有斐閣	昭和41年(1966)

編 書

現代日本の交通経済	東洋経済新報社	昭和43年(1968) 〔印刷中〕
-----------	---------	----------------------

翻 訳 書

シュターペルフェルド, 海運運賃市場 (Stapelfeld, F., <i>Der Seefrachtenmarkt</i> , 1931)	雄風館書房	昭和8年(1933)
ポール・マックスウェル・ゼース, アメリカ海運政策 (Zeis, P. M., <i>American Shipping Policy</i> , 1938)	有斐閣	昭和18年(1943)
合衆国海事委員会, アメリカ海運の経済的調査 (U. S. Maritime Commission, <i>Economic Survey of the American Merchant Marine</i> , 1937)	辰馬海事記念財団	昭和18年(1943)
ベルリン景気研究所, 海運における競争 (Institut für Konjunkturforschung, <i>Der Wettbewerb in der Seeschifffahrt</i> , 1940)	辰馬海事記念財団	昭和19年(1944)

論 文

大阪を中心とする内海航路の海運同盟の変遷	海運(日本海運集会所) 第104号	昭和6年(1931) 1月
戦後の英国造船業とその最近の統制	経営と経済 第1巻第1号 (京都市国大内京都経営学会)	1月
海運における仲立業者排除の傾向	経営と経済 第1巻第4号	4月
定期船業に於る景気変動	海 運 第108号	5月
海上保険会社の業務組織(解説)	経営と経済 第2巻第1号	7月
船体保険に関する最近の問題	経営と経済 第2巻第2号	8月
英国金本位制停止と我が海上保険業(解説)	経営と経済 第2巻第5号	11月
英国金本位制停止と我が海運業(解説)	経営と経済 第2巻第5号	11月
老齢船の処分に就いて	経済論叢 第33巻第5号	11月
北大西洋航路を中心とする海運恐慌	経営と経済 第3巻第2号	昭和7年(1932) 2月
船舶の等級と海上保険	経営と経済 第3巻第4号	4月
長期金融市場に進出する生保証券会社	経営と経済 第3巻第5号	5月
船舶超過保険成立の根拠について	経済論叢 第36巻第2号	昭和8年(1933) 2月
近海第一区不定期貨物船配船屯数に関する統計的研究	海 運 第129号	2月
海運における「市場の配分」と運賃の構成	経済論叢 第37巻第3号	9月
我が国不定期貨物船の配船噸数に現れたる季節変動	シュターペルフェルド, 海運運賃市場(所収)	10月
キーゾフ, 日本不定期船業の組織とその優越的地位(紹介)	シュターペルフェルド, 海運運賃市場(所収)	10月
定航海備船契約に於ける特約条項	経済論叢 第38巻第6号	昭和9年(1934) 6月
不定期船衰頹の諸原因に関する基本的考察	経済論叢 第39巻第4号	10月
積荷単独海損填補方法の吟味	経済論叢 第40巻第1号	昭和10年(1935) 1月
船舶評価と填補金額との関係	海 運 第153号	1月
海上保険に於ける重複保険填補について	経済論叢 第40巻第4号	4月
保険価額規定無用論	経済論叢 第41巻第3号	9月

再保険の発展と保険企業結合	経 済 論 叢 第42巻第 1 号	昭和11年(1936) 1 月
再び保険価額について—北村五良教授の批判に応う—	経 済 論 叢 第42巻第 2 号	2 月
再保険の損害率について	経 済 論 叢 第42巻第 4 号	4 月
不定期船の国際的重要性	海 運 第 167 号	4 月
再保険料率に関する一研究	経 済 論 叢 第42巻第 6 号	6 月
自社保有限度の決定に就いて	損 害 保 險 研 究 第 2 巻第 4 号	11月
保険プールについて	経 済 論 叢 第43巻第 5 号	11月
客観主義保険価値説における動搖—椎名・加藤両教授の所説について—	経 済 論 叢 第43巻第 6 号	12月
国際的再保険と為替相場の変動—最近に於ける元受貨幣再保険の傾向—	経 済 論 叢 第44巻第 3 号	昭和12年(1937) 3 月
ロイズに於ける再保険の操作	経 済 論 叢 第44巻第 4 号	4 月
再保険と共同呆険との接近	経 済 論 叢 第44巻第 5 号	5 月
再保険学説の発展(上, 下)	経 済 論 叢 第45巻第 3, 4 号	9, 10月
再保険の経済的本質	経 済 論 叢 第45巻第 6 号	12月
再保険形態の究極的發展—損害超過額再保険の吟味—	経 済 論 叢 第46巻第 5 号	昭和13年(1938) 5 月
損害率と保険料率との相関関係	経 済 論 叢 第46巻第 6 号	6 月
封鎖貨幣制度下の国際的再保険	経 済 論 叢 第47巻第 5 号	11月
外国為替管理と国際的再保険	海事論文集(対米船舶提供記念財団編)	11月
謂はゆる全部再保険の経済的意味	海 法 会 誌 第 23 号	12月
保険思想の発展	経 済 論 叢 第48巻第 1 号	昭和14年(1939) 1 月
日本再保険市場の構成—保険アウトタルキーの問題に關聯して—	経 済 論 叢 第48巻第 4 号	4 月
企業聯繫としての再保険	経 済 論 叢 第49巻第 1 号	7 月
The Organization of Insurance Pools in Japan	The Kyoto University Economic Review Vol. 15, No. 1, Jan. 1940	
ドイツ封建制末期に於ける保険機構の変容—バルデンベルグの保険改革について—	経 済 論 叢 第50巻第 1 号	昭和15年(1940) 1 月
北支満州損害保険市場	経 済 論 叢 第51巻第 1 号	7 月
保険に於ける個人—保険の発生について—	経 済 論 叢 第51巻第 4 号	10月

保険に於ける貨幣	経 済 論 叢	第51巻第5号	昭和15年(1940)11月
新しき海運政策への発展	海 運	第 226 号	昭和16年(1941) 3月
中世イギリスの海運政策	経 済 論 叢	第52巻第3号	3月
保険に於ける個人の問題 —人と万人の関係について—	保 險 学 論 集	第 1 輯	6月
チュウドル王朝の海運政策	経 済 論 叢	第53巻第1号	7月
イギリス海運政策史上の アメリカ	経 済 論 叢	第53巻第4号	10月
海運政策の積極性	経 済 論 叢	第54巻第2号	昭和17年(1942) 2月
戦時イギリス海運の性格	海 運	第 238 号	3月
世界恐慌後に於ける英国海運政策の転換	経 済 論 叢	第54巻第4号	4月
戦時船旗の確保又は補充に関する 非常措置	海 運	第 241 号 (海上保険特輯号)	6月
戦時船舶全面的徴発への行程 —第一次世界大戦イギリス海 運政策—	経 済 論 叢	第55巻第2号	8月
支那航域に於ける日英船	東 亜 経 済 論 叢	第 2 巻第3号	9月
航海条例時代のイギリス海運	交 通 文 化	第 20 号	10月
戦時アメリカの造船計画	エ コ ノ ミ ス ト	第20巻第45号	12月
米国海事委員会造船政策の歴史 的分析	海 運	第 247 号	12月
Japanese and British Vessels in Chinese Waters. I	<i>The Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 18, No. 1, Jan. 1943	
Japanese and British Vessels in Chinese Waters. II	<i>The Kyoto University Economic Review</i>	Vol. 18, No. 3, July 1943	
海運政策の現段階	日本経済政策学会年報	第 2 号	昭和18年(1943) 1月
海運政策における国防	海運 (日本海事振興会)	第 1 巻第 1 号	5月
アメリカ海運政策の性格	財 政	第 8 巻第 5 号	5月
1936年アメリカ商船法一特にそ の準戦体制の意味について—	経 済 論 叢	第56巻第6号	6月
保険体制における再保険	保険学論集(日本保険学会編)	第 3 輯	7月
合衆国海事委員会「アメリカ海 運の経済的調査」	経 済 論 叢	第57巻第2号	8月
戦時アメリカ海運政策	ジェース, アメリカ海運政策 (所収)		9月
海運政策における国際運賃収入	海運 (日本海事振興会)	第 1 巻第 5 号	9月
海運政策に於ける中立貿易 —アメリカ海運政策論の分析—	辰馬海事記念財団研究年報	第 1 号	12月

- イギリス海運政策の弾力性
—イギリス海運政策史序説— 経 済 論 叢 第58巻第1・2号 昭和19年(1944) 2月
- 休戦後の船舶徴発解除過程
—第一次世界大戦に於けるイギリスについて— 経 済 論 叢 第58巻第3号 3月
- ハインツ・ヘックホッフ「対外
経済政策に於ける海運, 1938」 経 済 論 叢 第58巻第4号 4月
- 第一次大戦後のイギリス海運政策 海運(日本海事振興会) 第2巻第4号 4月
- 戦時海運政策外国文献解題
(上, 下) 海運(日本海事振興会) 第2巻第5, 6号 5, 6月
- アメリカ海運政策の政治性
—アメリカ海運政策史序説— 海運(日本海事振興会) 第2巻第6号 6月
- アメリカ海運政策論批判 —ポ
ール・マックスウェル・ジェ
ーヌの所説について— 経 済 論 叢 第59巻第2・3・4号 10月
- フーリー郵務総監の海運調査報
告—ルースヴェルト海運政策
の基礎資料(1)— 経 済 論 叢 第59巻第5号 11月
- アメリカ海運政策委員会勧告書 経 済 論 叢 第60巻第1・2・3号
昭和20年(1945) 3月
- モルガン海運トラストの一考察 海運(日本海事振興会) 第4巻第4・5号
昭和21年(1946) 7月
- 船舶運営会論 海運(日本海事振興会) 第47号 昭和23年(1948) 6月
- 日本海運経営形態小史—自己運
送形態から他人運送形態への
発展— 経 済 論 叢 第62巻第3号 9月
- スミス国富論に於ける「運送貿
易」の概念 経 済 論 叢 第62巻第5号 11月
- 運航費・造船費の国際的比較
(上, 下) 海 運 第262, 263号 昭和24年(1949) 7, 8月
- 日本国民経済と海運 海 上 労 働 第2巻第9号 9月
- ノルウェー海運研究小記 海 事 研 究 第 4 号 昭和25年(1950) 3月
- 海運政策の基本原理 海 運 第 275 号 8月
- 保険における需要と供給 経 済 論 叢 第66巻第5・6号 10月
- System of Shipping Theory *The Kyoto University Economic Review* Vol. 20, No. 2, Oct. 1950
- イギリス海運にまなぶ
—その一, その二, その三— 海 上 労 働 第4巻第2, 4, 5号
昭和26年(1951) 2, 4, 5月

- | | | |
|---|---|---------------------------------|
| 保険における需要と供給 | 日本保険学会年報(1950) | 昭和26年(1951) 3月 |
| 海 運 用 語 | 海 上 労 働 第4巻第11・12号 | 11・12月 |
| System of Shipping Theory.
(2)—The Purposes of
Shipping Policy— | <i>The Kyoto University
Economic Review</i> | Vol. 22, No. 1, Apr. 1952 |
| System of Shipping Theory.
(3)—The Methods of
Shipping Policy— | <i>The Kyoto University
Economic Review</i> | Vol. 23, No. 1, Apr. 1953 |
| G. A. テール, 第二次大戦後の
世界海運(紹介) | 海 運 第 309 号 | 昭和28年(1953) 6月 |
| 海運と雇傭問題 | 海 事 研 究 第 14 号 | 7月 |
| 偶然について | 保 險 学 雑 誌 第 386 号 | 昭和29年(1954) 6月 |
| 海運同盟と半他人運送船 | 海 事 研 究 第 20 号 | 昭和30年(1955) 2月 |
| 海事用語 (1)~(3) | 海 事 研 究 第21号, 23~52号 | 昭和30年(1955) 4月, 6月~38年(1963) 1月 |
| 日本国有鉄道における貨物等級
指数—運賃理論の応用例— | 経 済 論 叢 第76巻第3号 | 9月 |
| 戦後日本の海運市場の特殊相 | 海 運 第 338 号 | 11月 |
| 計画造船の危機 | 海 運 第 341 号 | 昭和31年(1956) 2月 |
| Freight Classification Index
of Japan National Railway | <i>The Kyoto University
Economic Review</i> | Vol. 26, No. 1, Apr. 1956 |
| 海上運賃に関する予想 | 海 事 研 究 第 29 号 | 昭和32年(1957) 4月 |
| ブリムソル探訪記 | 海 運 第 355 号 | 4月 |
| Master, Mariner and Merchant | 経 済 論 叢 第80巻第5号 | 11月 |
| 海運市場構造 | 経 済 論 叢 第81巻第2号 | 昭和33年(1958) 2月 |
| 満載吃水線制度の確立 | 小島昌太郎博士古稀祝賀記念論文集(所収) | 5月 |
| 小島昌太郎先生の海運研究業績 | 小島昌太郎博士古稀祝賀記念論文集(所収) | 5月 |
| The Organisation of the
Shipping Market | <i>The Kyoto University
Economic Review</i> | Vol. 28, No. 1, Apr. 1958 |
| 海運における予想 | 日本海事新聞 | 11月13日~21日 |
| 交 通 論 | 土木学会関西支部「最近の交通
問題とその対策」(所収) | 昭和34年(1959) 3月 |
| 海運業における予想 | 京都大学経済学部創立四十周年記念経済学論集 | 5月 |
| 神戸正雄先生による再保険特約
方式の輸入 | 経 済 論 叢 第84巻第6号
(損害保険研究 第22巻第1号) | 12月
昭和35年(1960) 2月
に転載) |
| tramp と liner—呼称発生に關
する新先旧後の法則— | 経 済 論 叢 第86巻第1号 | 昭和35年(1960) 7月 |

- 保険の巨視的事前的分析
—保険料と価格形式— 生命保険文化研 第7号(1960) 昭和36年(1961)3月
究所報
- C. I. F. 価格の巨視分析 (1, 2)
—通説「C. I. F. 価格」批判な
らびに財産保険基本方程式の
定立— 経 済 論 叢 第87巻第5, 6号 5, 6月
- C. I. F. 契約批判 海 運 研 究 所 (海運叢書 6) 11月
- 財産保険料に関する基本的考察 保 險 学 雑 誌 第 416 号 昭和37年(1962)3月
- 損害保険料に関する一考察 東京海上企画部 第 19 号 10月
講演シリーズ
- 海事用語索引 (1)~(9) 海 事 研 究 第 53 号 昭和38年(1963)4月
- 保険料と価格形成 経 済 論 叢 第91巻第5号 5月
- 海運再建整備法における「減価
償却不足の解消」 経 済 論 叢 第91巻第6号 6月
- 海運の集約化と自由化 エコノミスト 第41年第34号 8月
- 海運政策の基本問題 海 事 研 究 第 55 号 10月
- 海事用語根源 (1)~(2) 海 運 第436, 438, 439, 441~457号
昭和39年(1964)1月, 3月, 4月, 6月~40年10月
- 現下日本海運業の問題—日本経
済の展望と海運業の諸問題— 労務管理者研修叢書 K 昭和39年(1964)11月
(外航労務者協会編) 所収
- 日本通産省産業連関表における
損害保険業の生産額 損害保険論集 昭和40年(1965)3月
(創立三十周年記念)
- 保険業の生産額 生命保険文化研究所所報第11号(1964年) 4月
- J. R. Hicks の「平均期間の理論」
—数学的解析による証明およ
び吟味— 経 済 論 叢 第96巻第4号 10月
- 長期海上運送契約に関する一つ
の経済理論 海 事 交 通 研 究 1965年度第1輯 11月
- 海事用語根源 (2)~(4) 海 運 第465~484号 昭和41年(1966)6月
~43年1月
- On the "Average Period" of
J. R. Hicks The Kyoto University 第36巻, No. 2, Oct. 1966
Economic Review
- Supercargo (上乗^{うわり}・貨物上乗
人) について 経 済 論 叢 第100巻第5号 昭和42年(1967)11月
- 産業連関表における保険業の生
産額 損害保険研究 第30巻第1号 昭和43年(1968)2月
[印刷中]

(作成者 山田浩之——なお、本稿作成については、学生田中七郎君の努力に負うところが大きい。
誌して謝意を表する。)